

社長放談

『タカハマ物語』3 ?!

株式会社 シンカ
代表取締役社長 野々山 光秋

去る3月21日、あの市民ムービー「タカハマ物語」2がクランクイン。間もなく撮影のピークに入るようです。3年前の第一弾とはキャストも、スタッフもテーマも全く異なる訳ですが、個人的にも仕上がりが大変気になるところです。

最近ここ高浜と様々な部分で関わる機会が多く、改めて高浜の良さと、すごい可能性と、秘めたるパワーを感じています。大人気のとりめしや、各まち協の活躍ぶりはもちろん、例えばこの3月本格稼働開始した高浜市観光協会の新拠点“ONI HOUSE”とオニマルシェは、名産・文化・自慢等を外へ向けて発信し徐々に活況を呈しています。

又、たかはま夢・未来塾では、どのクラブも大きな成果を生み、特にロボットクラブのロボカップ大会では、つい先日みごと日本一となり、近々世界大会へ出場とのこと。これら、どの事も側面からお手伝いさせていただきに、大変嬉しく思っています。一方、先ごろ公開された高浜市役所本庁舎整備事業。2年後には建替が完了し共用開始の運びとなるようです。そうです! 今高浜は中々“熱い”のです。

しかし、何といても私にとって直近の極めつけは、高浜市在住の著名陶芸家 森 克徳さんの念願の作品が手に入り、事務所(Design Labo)に飾ることが出来たことです。森さんの存在と力量を銘記したのは、今から7年前、朝日陶芸展でグランプリを受賞された作品をかわら美術館で観た時です。地場の伝統産業“いぶし瓦”の技法を使いみごとに芸術性を持たせ、更に自然にストーリーを感じてしまうほど、かつて観た事の無い作風に大きな衝撃を受けました。更に、それ前後に“日展”入選27回はもとより多数の大賞を受賞されている事を知り、事ある毎に森さん出品の陶芸展には顔を出すようになってしまいました。

数々の逸品を観てきましたが、その中で一際気になる作品が。それはグランプリを受賞された技法を用いた陶板作品です。私の小遣いで買えるのはいつも手ごろな実用品である花びん、湯のみ、マグカップ等で憧れの陶板作品は、じ〜っと観て後ろ髪を引かれる思いで帰ってくるのが毎度のことでした。それが何と、今回は様々なめぐり合せで購入する事が出来たのです。

今年度の弊社「第18期経営計画」は過去の延長線ではありません。つまり「5年後(2020年)にあるべき姿は、何をどこでどれだけ地域に貢献しなければならないか」をベースにしたうえで今年度の戦略・戦術を具体的にしたものです。

最近強く思うのは、『このすばらしい高浜市を軸に仕事をさせてもらえる幸せを感謝しなければならない』ということと同時に全く個人的な夢ですが、この高浜における地場産業や歴史・伝統・文化の中で息づく人間模様をテーマにした重みのある劇場映画を自作・自演したくなってきたことです。タイトルはもちろん『タカハマ物語』3～進化し続ける高浜～です。



↑ Design Laboに設置した
陶芸家・森 克徳さんのオブジェ



Design Laboにお立ち寄りの際は
是非見にきてください。



●Kさんの家●

『高浜市』

●素敵な家が完成しましたね。

初めてシンカさんに伺ったのは急な飛び込みでしたが、とても丁寧に対応してくれた事を今でも覚えています。そして気に入る土地もすぐに見つかり、家に対する気持ちも期待も大きくなり、それをどんどん実現させてくれました。

引き渡しの日から2カ月が過ぎ『自分達の家』になってきました。歳をとってもゆっくり出来る家、家族が増える今、この先のことが想像できます。宇野さん・藤村さんには、私たちの好きなタイプをすぐ理解して頂きとても心強かったです。安心して一つ一つ選ぶことができました。水野さん近本さんいろいろとありがとうございました。関わってくれた全ての方、本当にありがとうございました。



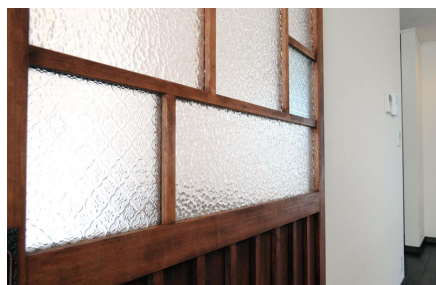
↑料理やお菓子作りがお好きな奥様がこだわられた、広々としたお洒落なキッチン。奥の壁は、あえてガラス窓に。明るいキッチンになりました。



↑ご主人と奥様の好きな色の中から選んだ、黒と茶の外壁です。落ち着いた雰囲気になりました



カフェ好きな奥様♪コーヒーの道具を使いやすく置けるスペースとして、広い作業台が重宝しますね↑



リビングのオリジナル建具は、ご主人中心に『ガラス』や『木の素材・色』をスタッフを含めみんなで選びました。



存在感あるデザインがカフェっぽい、システムキッチンのごトク&レバー→



●Kさんの家●

『高浜市』

●家づくりは いかがでしたか？

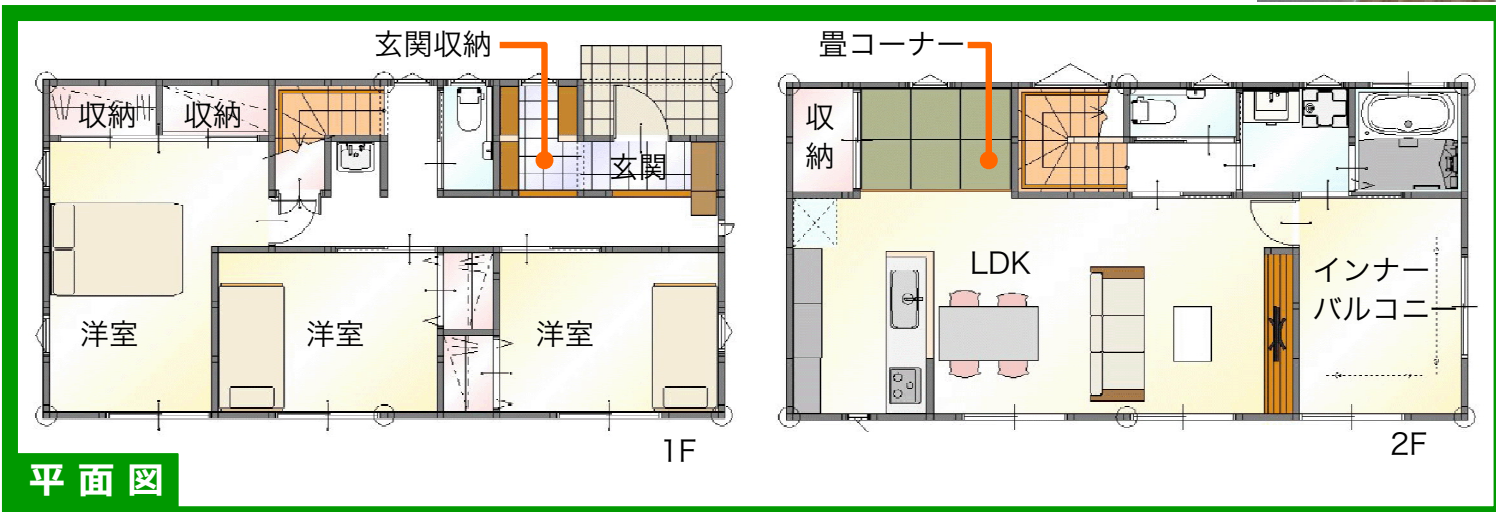
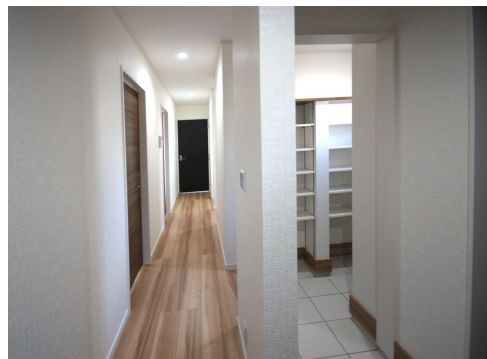
日当たりの良さと部屋の開放感でとても安らいで生活できています。入り組んだ間取りの良さもあるとは思いますが、シンプルな作りにして住んでみて正解だったなあと思います。

収納も多く、家の中にスペースがあるのがとてもうれしいです。リビングの開放感を実現できたのも天井を高くできたことが大きく、シンカさんや大工さんのおかげだなあと感謝しています。

また、家を新築したことで兄夫婦も気楽にゆっくり遊びに来られるようになり、職場の仲間を招いてホームパーティーをすることもできました。こんな楽しい時間も私達の家づくりに協力して下さった皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。



↑すっきりとしたリビング。棟梁の計らいで約15センチ天井を高くできました。



平面図

